

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年4月14日 (2011.4.14)

【公開番号】特開2009-60893(P2009-60893A)

【公開日】平成21年3月26日 (2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2008-201593(P2008-201593)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 31/20

A 6 1 P 31/22

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 19/00

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 37/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月28日 (2011.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

R N A 干渉を媒介する化学的に修飾された二本鎖短干渉核酸分子であって、

- a) 二本鎖核酸はセンス鎖およびアンチセンス鎖を含み；
  - b) 各鎖は、独立して、18 - 24ヌクレオチドの長さであり；
  - c) センス鎖はその5' - および3' - 末端に末端キャップ成分を含み、アンチセンス鎖はその3' - 末端に末端キャップ成分を含み；および
  - d) センス鎖およびアンチセンス鎖の10またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドは2' - デオキシ、2' - O - メチル、または2' - デオキシ - 2' - フルオロヌクレオチドで化学的に修飾されている、
- ことを特徴とする二本鎖核酸分子。

【請求項 2】

前記二本鎖核酸分子はリボヌクレオチドを含まない、請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 3】

前記二本鎖核酸分子は1またはそれ以上のリボヌクレオチドを含む、請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 4】

センス鎖に存在する1またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドは2' - O - メチルピリミジンヌクレオチドである、請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 5】

センス鎖に存在する1またはそれ以上のプリンヌクレオチドは2' - デオキシプリンヌクレオチドである、請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 6】

センス鎖に存在する1またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドは2' - デオキシ - 2' - フルオロピリミジンヌクレオチドである、請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 7】

前記アンチセンス鎖に存在する1またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドは2' - デオキシ - 2' - フルオロピリミジンヌクレオチドである、請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 8】

前記アンチセンス鎖に存在する1またはそれ以上のプリンヌクレオチドは2' - O - メチルプリンヌクレオチドである、請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子および薬学的に許容しうる担体または希釈剤を含む組成物。

【請求項 10】

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, または10個のホスホロチオエートヌクレオチド間結合を含む、請求項 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 11】

R N A 干渉を媒介する化学的に修飾された二本鎖短干渉核酸分子であって、

- a) 二本鎖核酸はセンス鎖およびアンチセンス鎖を含み；
- b) 各鎖は、独立して、18 - 24ヌクレオチドの長さであり；
- c) センス鎖はその5' - および3' - 末端に末端キャップ成分を含み、アンチセンス鎖はその3' - 末端に末端キャップ成分を含み；および
- d) センス鎖またはアンチセンス鎖の10個またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドは2' - デオキシ、2' - O - メチル、または2' - デオキシ - 2' - フルオロヌクレオチド

ドで化学的に修飾されている，  
ことを特徴とする二本鎖核酸分子。

【請求項 1 2】

前記二本鎖核酸分子はリボヌクレオチドを含まない，請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 1 3】

前記二本鎖核酸分子は 1 またはそれ以上のリボヌクレオチドを含む，請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 1 4】

センス鎖に存在する 1 またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドは 2' - O - メチルピリミジンヌクレオチドである，請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 1 5】

センス鎖に存在する 1 またはそれ以上のプリンヌクレオチドは 2' - デオキシプリンヌクレオチドである，請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 1 6】

センス鎖に存在する 1 またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドは 2' - デオキシ - 2' - フルオロピリミジンヌクレオチドである，請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 1 7】

前記アンチセンス鎖に存在する 1 またはそれ以上のピリミジンヌクレオチドは 2' - デオキシ - 2' - フルオロピリミジンヌクレオチドである，請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 1 8】

前記アンチセンス鎖に存在する 1 またはそれ以上のプリンヌクレオチドは 2' - O - メチルプリンヌクレオチドである，請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 1 9】

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, または 10 個のホスホロチオエートヌクレオチド間結合を含む，請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子。

【請求項 2 0】

請求項 1 1 に記載の二本鎖核酸分子および薬学的に許容しうる担体または希釈剤を含む組成物。